

2025年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2年
エアライン科 キャビンアテンダントコース
エアポートコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

- (1)共通科目:人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。
- (2)専門科目:各各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2025 年度昼間部 2 年 エアライン科エアポートコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	6	8	2	3	19
	専門科目	20	29	15	12	76
合計		26	37	17	15	95

各期全単位を取得すること。

必修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期							
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数				
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15												
	キャリアデザイン I	講	2	30	キャリアデザイン II	講	5	75												
	ビジネスコミュニケーション I	講	1	15									ビジネスコミュニケーション II	講	1	26				
	パソコン I	演	1	15	パソコン II	演	1	15	パソコン III	演	1	26	パソコン IV	演	1	26				
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	26	Let's Speak English IV	演	1	26				
	小計		6	90	小計		8	120	小計		2	52	小計		3	78				
必修科目 専門科目	English Communication I	演	2	30	English Communication II	演	2	30	Airline English I	演	1	26	Airline English II	演	1	26				
	TOEIC対策 I	講	3	45	TOEIC対策 II	講	3	45	TOEIC対策 III	講	2	52	TOEIC対策 IV	講	1	26				
	Ideas&Opinions/英語基礎文法 I	演	1	15	Presentation Skills/英語基礎文法 II	講	2	30	中国語 I / 韓国語 I	講	1	26	中国語 II / 韓国語 II	講	1	26				
	身だしなみ講座	演	2	30					社会人準備講座	講	1	26								
	エアライン概要 I	演	1	15	エアライン概要 II	演	1	15	手話講座 I	演	1	26	手話講座 II	演	1	26				
	カウンター実技演習	演	1	15	エアライン受験対策	講	1	15	ニュースディスカッション	演	1	26								
	空港旅客サービス実務 I	講	2	30	エアライン受検対策	演	1	15	電話応対ベーシック I	演	1	26	電話応対ベーシック II	演	1	26				
	グランドハンドリング実務 I	演	1	15	通関ビジネス検定対策	演	1	15	空港旅客サービス実務 II	講	1	26								
	カーゴハンドリング入門	講	1	15	空港旅客サービス実務 II	講	2	30	グランドハンドリング実務 II	演	1	15	空港旅客サービス実務 III	講	1	26				
	アマデウス I	演	2	30	エアカーゴ実務 I (貿易)	講	1	15	危険物取扱講座	講	1	26								
	ワールドデスティネーションズ I	講	2	30	アマデウス II	演	2	30	エアカーゴ実務 II (フォワード)	講	1	26								
	エクササイズ I	演	2	30	ワールドデスティネーションズ II	講	2	30	ワールドデスティネーションズ III	講	1	26	航空機研究	講	1	26				
					エクササイズ II	演	2	30	エクササイズ III	演	1	26								
					Airport Study	講	2	30	卒業制作 I	演	2	52								
					TOEIC集中講座	講	2	30												
					海外語学留学	演	5	75												
		小計		20	300	小計		29	435	小計		15	390	小計		12	328			
計	1年前期 合計		26	390	1年後期 合計		37	555	2年前期 合計		17	442	2年後期 合計		15	406				
	1年 合計		63	945	2年 合計		63	945	2年 合計		32	848	2年 合計		32	848				
	2年間 総合計																			
																	95	1,793		
行事・研修	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期							
	オリエンテーション スポーツ大会				就職ガイダンス 中村学園祭 AAセミナー				オリエンテーション スポーツ大会				中村学園祭							

共通科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキル			科目区分	共通科目
対象	全学科			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：宮崎 愛子・愛澤 純子・野田 てるみ				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word Excelの基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excelを使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ・USBメモリ 				
授業計画	1 power point 基礎,等	1 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	2 power point 基礎,等	2 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	3 power point 基礎,等	3 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	4 power point 基礎,等	4 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	5 power point 基礎,等	5 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	6 power point 基礎,等	6 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	7 power point 基礎,等	7 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	8 power point 基礎,等	8 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	9 power point 基礎,等	9 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	10 power point 基礎,等	10 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	11 power point 基礎,等	11 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	12 テスト前予習	12 テスト前予習			
	13 テスト返却,確認	13 テスト返却,確認			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験70%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験60%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Talking about a place		1 Talking about quantities		
	2 Asking for and giving suggestions		2 Talking about needs		
	3 Talking about locations		3 Talking about what you eat & healthy eating habits		
	4 Asking for & giving directions		4 Asking about & describing food		
	5 Review of weeks 1-4		5 Review of weeks 1-4		
	6 Asking about & giving prices		6 Talking about past events		
	7 Bargaining for a lower price		7 Asking about past events		
	8 Talking about frequency		8 Introducing news & reacting to news		
	9 Describing features		9 Talking about future plans		
	10 Review of weeks 6-9		10 Review of weeks 6-9		
	11 Test preparation		11 Test preparation		
	12 Speaking test		12 Speaking test		
	13 Review		13 Review		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ			科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース2年生			授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：26時間
担当	講師名：井部・須田（礼）・橋本（幸）				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。				
到達目標	新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を習得し、体現できること。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社（1年次購入済み）				
授業計画	1 年金・税・保険の知識				
	2 組織（役職）と部門について				
	3 慶弔に関する知識とマナー				
	4 領収書の記入方法				
	5 その他ビジネス用語				
	6 アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換				
	7 上座・下座				
	8 企業訪問 実践ロールプレイ				
	9 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方				
	10 電話応対 実践ロールプレイ				
	11 上手な聞き方、話し方				
	12 命令・指示、忠告・注意の受け方				
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

キャビンアテンダントコース

専門科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	Airline English I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Robert Endo-McCabe、須田 礼美				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	To develop students' English language skills for airline-related situations, and build confidence in communicating in English with native speakers.				
到達目標	Students will learn, memorize and practice relevant conversations for working in the airline industry.				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	Original text				
授業計画	1 Check-in conversation		1 Preflight instructions		
	2 Gathering and checking information		2 Inflight amenities		
	3 Checking baggage/numbers/ contents check		3 Inflight meal and drink service		
	4 Airport areas		4 Inflight shopping and currency		
	5 Seating/ boarding pass/ preflight instructions		5 Inflight problems (illness and emergency situations)		
	6 Oral test 1		6 Oral test 1		
	7 Security check conversation; Prohibited items		7 Recommending and explaining popular places		
	8 Security check conversation; Security checks		8 Explaining transportation		
	9 Duty free conversation; limits/ landing documents		9 Explaining location and making recommendations		
	10 Duty free conversation; Payment / inflight shop		10 Talking about places		
	11 Boarding gate English		11 Shopping and souvenirs		
	12 Announcements and instructions		12 Explaining Japanese etiquette		
	13 Oral test 2		13 Oral test 2		
成績評価 方法	Test (written and oral), attendance, in-class attitude and effort				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC Advanced 対策 III・IV		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース		授業形式	講義
実施期	2年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数	前期：2単位 後期：1単位	時間数 前期：52時間 後期：26時間
担当	講師名：小野寺和子			
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：Air Canada； Cabin Attendant、カナダ国内外の flight 勤務		
授業概要	英語によるコミュニケーション能力評価する世界の共通テストである。現在ほとんどの航空会社・企業は TOEIC スコア保持者を採用条件として設定している。			
到達目標	Cabin Attendant の場合は TOEIC Score 600 以上を採用条件としている。700 点以上を目指す。さらにハイスコアを在学中に取得し、付加価値をつけて就職を有利にする。			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書教材	国際ビジネスコミュニケーション協会発刊の公式問題集から配布資料を作成しテキストとする。Listening は発話者のクセに慣れるように徹底的に聞き取り練習を実施。加えて英語教材出版社、アルク、朝日出版、Japan Times の TOEIC 教材を適宜、効果的に使用する。			
授業計画	1 Listening Part 演習問題	1		
	2 Part 1, Part 2 特に応答問題のレベルアップ	2		
	3 Reading Part：Part 5, 文法問題を徹底的に強化	3		
	4 Listening Part 3/4 の演習問題	4		
	5 Reading Part, Part 6, 7 の演習問題	5		
	6 習熟度を知るための小テストを実施。	6		
	7 Listening Part 演習問題	7		
	8 Part 1, Part 2 特に応答問題のレベルアップ	8		
	9 Reading Part：Part 5, 文法問題を徹底的に強化	9		
	10 Listening Part 3/4 の演習問題	10		
	11 Reading Part, Part 6, 7 の演習問題	11		
	12 習熟度を知るための小テストを実施。	12		
	13 習熟度を知るための小テストを実施。	13		
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	社会人準備講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：宮崎 愛子			
	実務経験：—	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。		
授業概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標に、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの間があることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書教材	なし（適宜プリントを配布）			
授業計画	1 学ぶこと・働くことの意義を考える。社会人の評価基準～信用と信頼を得て仕事を任せてもらえる人材に～			
	2 アンガーマネジメント①／怒り感情の正体とは／怒り感情のコントロール（自己理解）			
	3 アンガーマネジメント②／怒り感情との向き合い方・対処法（他者理解）／クレームの捉え方			
	4 アンガーマネジメント③／怒りの性質を知り自分の心を守る アンガーマネジメントまとめ			
	5 メンタルヘルスマネジメント①／そもそもストレスとは？ストレスの受け取り方、受け流し方			
	6 メンタルヘルスマネジメント②／悩みに振り回されないために、感情を整理する			
	7 メンタルヘルスマネジメント③／幸せホルモンとセルフコントロール			
	8 メンタルヘルスマネジメント④／自分だけのコーピングリストを作成しよう			
	9 アサーティブコミュニケーション①／アサーティブの基本～自己表現タイプと心理的ポジション			
	10 アサーティブコミュニケーション②／アサーティブに表現してみよう			
	11 新入社員の自己紹介①／自己紹介の目的・ルール・伝えるべきこと			
	12 新入社員の自己紹介②／相手の心に届く自己紹介を考えよう			
	13 テスト返却／新入社員の自己紹介～新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう～			
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：藤田敦子			
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：手話講師・手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話やその他のコミュニケーション手段（指文字、読唇、筆談、表情、ジェスチャー、音声など）を体験し学ぶ。手話技能検定6級5級4級の単語を学ぶ。また、聴覚障がいのお客様に対して自信を持ってコミュニケーションがとれるように聴覚障がいの基礎知識（医学的、社会的、心理的、文化的な側面）を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障がい者の多様性と手話について理解をする 2. 聴覚障がい者を取り巻く環境および問題点について理解をする 3. 手話やそれ以外の様々なコミュニケーション方法があることを知り体験する。 4. 手話や多様なコミュニケーション方法を用いて簡単な会話ができるようになる。 			
検定資格	なし・必修・(任)意 名称：手話技能検定4級または5級			
教科書教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級（日本能率協会マネジメントセンター） 手話技能検定公式テキスト3・4級（日本能率協会マネジメントセンター）			
授業計画	1 手話とは①・指文字とは・聴覚障害者とは① 6級単語：あいさつ・自己紹介・反応・	1 聴覚障害者と法律① 4級単語：人間・食べ物・動物・指文字総合復習		
	2 手話とは②・手話の種類・聴覚障害者とは② 6級単語：天候・疑問・数字・時制・指文字①	2 聴覚障害者と法律② 4級単語：生活・スポーツ・趣味・指文字総合復習		
	3 手話とは③ 6級単語：人・家族・指文字②	3 ろう文化とは 4級単語：感情・乗り物・指文字総合復習		
	4 手話とは④・手話と聴覚障害の種類・人数 6級単語：色・方角・指文字③	4 デフリンピック① 4級単語：形容詞副詞①・指文字総合復習		
	5 接客手話とは 6級単語：感情・動作・指文字④	5 デフリンピック② 4級単語：形容詞副詞②・指文字総合復習		
	6 世界の手話 手話検定6級模試（指文字なし）	6 耳の構造と補聴器 4級単語：社会施設①・指文字総合復習		
	7 コミュニケーション方法① 5級単語：疑問と時間・自然・指文字⑤	7 聴力レベルと障害者手帳 4級単語：社会施設②・都道府県①・指文字総合復習		
	8 コミュニケーション方法② 5級単語：自然・家族・趣味・程度・指文字⑥	8 マークいろいろ① 4級単語：都道府県②・指文字総合復習		
	9 コミュニケーション方法③ 5級単語：基本動詞・指文字⑦	9 マークいろいろ② 4級単語：都道府県③		
	10 コミュニケーション方法④ 5級単語：形容詞・指文字⑧	10 聴覚障害者トピック 4級単語：動詞		
	11 コミュニケーション方法⑤ 5級単語：指文字⑨・6級指文字	11 ゲストを迎える準備・質問練習		
	12 手話検定5級模試と答え合わせ	12 ゲストティーチャーとの交流・手話を使ってみる		
	13 試験返却&振り返り	13 試験返却&振り返り		
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験65%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

2025年度シラバス（授業計画）

科目名	韓国語 I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・テーマパーク科・観光科			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名： 渡部 茂				
	実務経験： 有・ 無	実務経験内容：			
授業概要	韓国語の会話のみならず、この言語を使用している民族の文化面的な背景も学ぶ。				
到達目標	一年間を通して日常の韓国語の場面話術や、各業界の専門的な業務会話の習得までを到達目標とする。				
検定資格	なし・必修・ 任意 名称： ハングル検定・韓国語能力検定				
教科書 教材	「日本語式から学ぶ韓国語概説」 渡部 茂 著				
	「例文をなぞって覚える場面別会話集」 渡部 茂 著				
授業計画	1.韓国語とはとハングル創製の時代背景まで	1.基本的な会話（初対面の挨拶等）			
	2.文字と発音のルール（連音化・有声音化等）	2.日常会話（I THBで何を学んでいますか等）			
	3.音の変化（流音化・鼻音化・口蓋音化等）	3.旅行・観光（機内・列車内・バス内での案内等）			
	4.数詞 助数詞 漢数詞と固有数詞（1と一）	4.飲食時の会話（客と従業員の間の会話等）			
	5.指示代名詞と疑問詞	5.ホテル内での会話（予約と応対等）			
	6.助詞（一音節・二音節・三音節・四音節等）	6.交通と乗り物（I THBまで行って下さい等）			
	7.用言の活用（です・ます）	7.テーマパーク（入場客のご案内や引率等）			
	8.文中の連体形と連用形	8.ショッピング会話（日常や旅先の注文と応対等）			
	9.待遇表現(丁寧語・謙譲語・尊敬語等)	9.感情表現（日韓形容詞の相違の比較対照）			
	10.依存名詞の役割（こと・もの・はず・わけ等）	10.看病・介護・病気等の表現			
	11.日本語漢字音と韓国漢字音の対比	11.人生の一生の出来事表現			
	12.擬態語・擬声語（オノマトペ） 接頭辞・接尾辞	12.スマホ・パソコン等の電子機器等の表現			
	13.朝鮮半島文化的背景（親族の呼称・歴史年表）	13.芸能・音楽（前売り券・ファンミーティング等）			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・テーマパーク科・観光科			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：張翼飛				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	前期は中国語の基本発音、文法及び中国文化を習得します、後期は基本会話の練習とエアライン、テーマパークおよび観光の現場に近い中国語を学び、即戦力となる人材を育成します。				
到達目標	基本的な中国語会話を身につけ、来日中国人のお客様に基本的な対応ができるようになる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	1 中国語の母音と子音の練習。	1 形容詞述語文を学習。			
	2 中国の地図、近代歴史と民族の紹介。	2 文の組み立て方の練習。			
	3 中国語四声の練習。	3 テーマパーク入場、案内で使用する会話。			
	4 中国年間行事の紹介。	4 エアラインカウンター手続きで使用する会話。			
	5 出会いと別れ、お礼とお詫びの言葉の練習。	5 観光地のバス移動で使用する会話。			
	6 中国人恋愛観と結婚観の紹介。	6 テーマパーク土産店で使用する会話。			
	7 中国語数字の言い方。	7 空港の保安検査と出国審査で使用する会話。			
	8 中国四大料理と食事マナーの紹介。	8 観光地案内で使用する会話。			
	9 動詞述語文を学習。	9 テーマパーク内レストラン利用時の会話。			
	10 中国人に送ってはいけないものの紹介。	10 エアライン搭乗案内で使用する会話。			
	11 名詞述語文を学習。	11 観光地食事マナー、ゴミ回収で使用する会話。			
	12 中国映画鑑賞。	12 テーマパーク内ホテルで使用する中国語会話。			
	13 前期期末試験問題対策。	13 後期期末試験問題対策。			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験90%以上、出席率80%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C：評価試験50%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験50%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ニュースディスカッション		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：須田礼美			
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：成田空港VIP専用ラウンジ勤務・外資系航空会社客室乗務員		
授業概要	時事問題に対する興味と関心を広げ、深く理解する。 ディスカッションを通して自分の意見を論理的に表現する。			
到達目標	社会人として必要な語彙力・理解力・表現力を身に着ける。 論理的思考やクリティカルシンキングの基礎力を身に着ける。 自分の意見を相手に伝わるように言語化できるようになる。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	適時プリント配布			
授業計画	1 オリエンテーション： シラバスの説明 ・ 授業の目的と進め方 ・ 成績評価の方法			
	2 ニュースの分析と理解（基本構造5W&H：要約）		ペアワーク（共有とフィードバック）	
	3 ディスカッションの種類とそれぞれの進め方（手順）		グループまたはペアワーク（自由討論）	
	4 「定義付け」の必要性		グループワーク（抽象的なテーマ：話題のニュースに関する選択型討論）	
	5 「ブレインストーミング」の注意点		グループワーク（話題のニュースに関する自由討論）	
	6 「心理的安全性の構築」について		グループワーク（話題のニュースに関する選択型討論）	
	7 「ディスカッション」と「ディベート」		グループワーク（話題のニュースに関する賛成反対型討論）	
	8 演習：自由討論（話題のニュースに関するテーマ）			
	9 演習：選択型討論（話題のニュースに関するテーマ）			
	10 実技テストに向けて：ディベート準備		グループワーク（根拠となる資料収集・戦略構想）	
	11 演習：ディベート（話題のニュースに関するテーマ）			
	12 ディベートの反省と講師からのフィードバック			
	13 まとめと感想			
成績評価 方法	評価試験・出席状況・授業（演習）貢献度・課題評価を総合的に評価して判断する。			
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 A B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 B C：評価試験70%以上、出席率60%以上、平常点 C D：評価試験70%未満、出席率60%未満、平常点 D			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	CA 講座Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：26 時間
担当	講師名：湊 さやか				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	実務経験内容：外資系航空会社の客室乗務員としての実務経験あり			
授業概要	客室乗務員は外国人と広く関わりを持つ職種です。外国人が日本人客室乗務員に期待することは何でしょうか。そのニーズに応えるために必要な知識とマナーを習得します。日本人と外国人の習慣や価値観の違いを理解し、それぞれに相応しい「おもてなし」を考えます。				
到達目標	相手の国の文化や価値観に合わせた接遇が出来る。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	なし（プリント配布）				
授業計画	1. イントロダクション 国民性ジョーク				
	2. キリスト教について ユダヤ教とキリスト教				
	3. イスラム教 プリントワーク（社内報の作成）				
	4. 仏教と日本人の信仰 タイの仏教				
	5. ヒンドゥー教 採食主義				
	6. 宗教まとめプリント グループワーク（宗教に配慮した商品企画）				
	7. アメリカ人の国民性 アメリカ人とイギリス人の違い				
	8. イタリア人の国民性 ドイツ人の国民性				
	9. 西洋のマナーとエチケット				
	10. タイ人の国民性 ベトナム人の国民性				
	11. 中国事情				
	12. 韓国事情				
	13. テスト返却 世界いろいろクイズ				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ワイン&カクテル入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：松平 和宏				
	実務経験：有	実務経験内容：ホテル業界にて料飲部門（宴会・バー）実務経験あり。			
授業概要	「空飛ぶソムリエ」としての役割と仕事を理解し、基礎的なワインやカクテルの知識を学ぶ				
到達目標	エアラインに必要な、ワインを含む酒類やカクテルに関する基礎的な知識の習得				
検定資格	なし				
教科書 教材	※配布資料有 日本ソムリエ協会 教本、ホテル・バーメンズ協会 教本より抜粋				
授業計画	1 「空飛ぶソムリエ」の仕事と役割について				
	2 酒類総論 醸造酒と蒸留酒、混成酒の理解				
	3 ワイン概論 ワインのタイプと栽培、醸造				
	4 世界のワイン産地				
	5 ワインの管理とサービス方法、ワインと料理のペアリング				
	6 ワインテイस्टィングの目的とその方法				
	7 カクテルとは？ カクテルの道具と4技法、カクテルのTPO				
	8 カクテルの原料 リキュール・スピリッツについて				
	9 スタンダード・カクテルのレシピとレシピの考え方				
	10 モクテル（ノンアルコール・カクテル）創作 ネーミングとデコレーション				
	11 ビルドによるスタンダード・カクテルと創作モクテルの実技演習				
	12 ここまでの学習の復習				
	13 評価試験の解答および解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ワールドディステーションズⅢ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：石松			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり。		
授業概要	世界の渡航先について、①空港所在地 ②空港周辺の観光資源を中心に、地勢・言語・宗教・文化風習などについて、幅広く基礎を学ぶ。 授業期間中に、評価の対象となる課題の提出がある。			
到達目標	主要な空港所在地を地図上で把握することができる。 渡航の目的について、理解と考察ができる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	旅に出たくなる地図 世界（帝国書院） 世界白地図（JTB 総合研究所） ※ともに1年次に購入済 プリント適宜配付			
授業計画	1 中東（トルコ、UAE）			
	2 ヨーロッパ（英国、フランス）			
	3 ヨーロッパ（スペイン、ポルトガル）			
	4 ヨーロッパ（ドイツ、スイス、オーストリア）			
	5 ヨーロッパ（イタリア、その他）			
	6 ヨーロッパ（北欧諸国、ロシア）			
	7 北米（カナダ、アメリカ合衆国）			
	8 北米（アメリカ合衆国）、中南米の代表的な渡航先			
	9 オセアニア（ハワイ）			
	10 オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド）			
	11 アフリカ（エジプト、モロッコ）			
	12 アフリカ（その他の情報） / 期末試験前のまとめ			
	13 定期試験返却と解説 / 宗教画			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、および出席率 80%以上、および平常点 優 B：評価試験 60%以上、または出席率 70%以上、または平常点 良 C：評価試験 40%以上、または出席率 60%以上、または平常点 可 D：評価試験 40%未満、または出席率 60%未満、または平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	電話対応ベーシックⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：岸田輝美			
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：電話対応・社内マナー講師実務経験。現在は研修会社取締役		
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話対応」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、実践ですぐに役に立つ、社会人として最低限に必要なスキルを身に付けていく「電話総合ビジネスマナー」を学んでいきます。			
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話対応、信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得します。 訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指します。			
検定資格	なし・必修・(任意) 名称：電話対応技能検定4級			
教科書教材	ビジネスマナーテキストブック（ビューティフルマナー株式会社出版） 前向きな言葉の作り方実践ワークブック（一般社団法人日本ペップトーク普及協会）			
授業計画	1 前向きな言葉を意識する	1 【実践電話対応】 取次 台本作り		
	2 状況を受け止め表現する	2 【実践電話対応】 取次 実技		
	3 状況の捉え方を変え表現する	3 【実践電話対応】 道案内 台本作り		
	4 可能なことを提案する	4 【実践電話対応】 道案内 実技		
	5 自分自身を励ます	5 【実践電話対応】 問い合わせに対応 台本作り		
	6 自分の一言目を変える	6 【実践電話対応】 問い合わせに対応 実技		
	7 日本語の特徴（話す・聞く）	7 【実践電話対応】 感謝をイメージする 台本作り		
	8 敬語の基本を学ぶ	8 【実践電話対応】 感謝をイメージする 台本作り		
	9 敬語の基本を学ぶ	9 【実践電話対応】 感謝をイメージする 台本作り		
	10 相手の心理状態をプラスにする言葉	10 【実践電話対応】 感謝をイメージする 実技		
	11 電話対応の基本	11 【実践電話対応】 感謝をイメージする 実技		
	12 電話対応の基本（かける）	12 【実践電話対応】 感謝をイメージする 実技		
	13 電話対応の基本（受ける）	13 会社の顔を自覚する応対とは		
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅢ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2 2年 前期・後期	単位数	前期：1単位	時間数 前期：26時間
担当	講師名：北原 大輔			
	実務経験：有・無	実務経験内容：スポーツインストラクターとして実務経験あり。		
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力とリスベクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	なし、必要によりプリント用意			
授業計画	1 自己紹介、授業説明			
	2 体力測定			
	3 体力測定2			
	4 コーディネーショントレーニング			
	5 バランストレーニング			
	6 心拍数、運動強度講習			
	7 ウォーキング			
	8 ランニング			
	9 筋トレ（上半身）			
	10 筋トレ（下半身）			
	11 ボクササイズ			
	12 球技			
	13 測定テスト			
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価 基準	A：授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B：授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C：授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D：授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	危険物取扱講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：逢坂 理恵			
	実務経験：有・無	実務経験内容：航空貨物取扱企業にて輸出・輸入業務ならびに教育担当の実務経験あり。Diploma 基礎、危険物教育インストラクターの資格あり。		
授業概要	航空機に搭載する手荷物や航空貨物には危険物があり、様々な規則が定められています。危険物は取り扱いを間違えると大事故に繋がってしまうため、航空業界で働くために身に付けておくべき知識の一つです。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物の分類や危険性、ラベル、マーキングを理解する。 ・旅客手荷物に含まれる危険物、航空機への搭載規則を理解する。 ・航空安全に対する意識を醸成する。 			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	1. 身の周りの危険物、教育の目的、規則体系とその他の輸送形態			
	2. IATA 規則第 1-2 章 危険物輸送の流れと規則の責任範囲、認可と適用免除			
	3. IATA 第 2 章 隠れた危険物、微量・少量、IATA 第 3 章 分類(第 1 分類～3 分類)			
	4. IATA 第 3 章 分類(第 4 分類～9 分類)			
	5. IATA 第 4 章 危険物リストの見方			
	6. IATA 第 5-6 章 包装基準、容器の種類と輸送形状、国連規格容器			
	7. IATA 第 7 章 ラベル・マーキング			
	8. IATA 第 8 章 書類の作成 (危険物申告書、AWB)			
	9. IATA 第 9 章 ハンドリング(受託・保管・搭載)			
	10. IATA 第 9 章 旅客手荷物、機長への通知			
	11. まとめ、応用問題			
	12. 試験対策問題			
	13. 試験返却、フィードバック			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 59%以下、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	卒業制作Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：52時間 後期：52時間
担当	講師名：株式会社 ANA 総合研究所			
	実務経験：○・無	実務経験内容：客室乗務員としての実務経験あり		
授業概要	【ケーススタディー】 前期：過去の事例（成功事例、事故ミス/ヒヤリハット）について講義 後期：実際の事例を基に、実技演習にて実際の対応方法を学ぶ			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントと危機管理の違い、CSRを理解する ・過去の事例に伴った対策を知り、新たな対応策を考える力を身に付ける 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材				
授業計画	1	オリエンテーション（受講に際しての心構え）	1	オリエンテーション（授業の目的・目標）
	2	リスクマネジメントと危機管理について	2	グループ分け（具体事例を選択）
	3	企業統治（コーポレートガバナンス）について	3	具体事例1 ヒヤリハット対策考案①
	4	航空業界における安全管理体制①	4	具体事例1 ヒヤリハット対策考案②
	5	航空業界における安全管理体制②	5	具体事例1 ヒヤリハット対策考案③
	6	前半の振り返り	6	具体事例1 ヒヤリハット対策考案④
	7	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 空港	7	対策案を基に実際に動く（実技形式）
	8	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 空港	8	具体事例2 ヒヤリハット対策考案①
	9	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 空港	9	具体事例2 ヒヤリハット対策考案②
	10	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 空港	10	具体事例2 ヒヤリハット対策考案③
	11	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 機内	11	CSコンテスト（発表）
	12	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 機内	12	CSコンテスト（発表）
	13	まとめと後期に向けて	13	まとめ
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験60%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験60%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	航空機研究			科目区分	専門科目
対象	エアライン科			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：逢坂 理恵				
	実務経験：有・無	実務経験内容：航空貨物取扱企業にて輸出・輸入業務ならびに教育担当の実務経験あり。Diploma 基礎、危険物教育インストラクターの資格あり。			
授業概要	航空業界で働くための基礎となる知識、特に航空機とその周囲で働くスタッフについて学びます。また航空機の事故事例から“空の安全”について考え、将来の職場でも安全に対し意識をもって仕事ができるように、安全の重要性を学びます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機や空港関連の基礎知識、航空会社業務への理解を深める ・航空業界の責任について学ぶ 				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	講師作成教材				
授業計画	1. 航空機の歴史と種類、機体の構造				
	2. 航空機の原理とエンジン				
	3. 機体の構造とカテゴリー、装備				
	4. 航空機のバランス、燃料				
	5. 航空機を囲む搭降載機、ULD				
	6. 航空機の整備				
	7. 航空機を囲む様々な業務（航空会社）				
	8. 航空機を囲む様々な業務（空港）				
	9. 航空権益と IATA Area、時差・飛行時間計算				
	10. 航空機事故から学ぶ				
	11. まとめ、応用問題				
	12. 試験対策問題				
	13. 試験返却、フィードバック				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 59%以下、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	企業実習/ボランティア		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	後期：4単位	時間数
担当	講師名：企業担当者/ボランティア団体 担当者			
	実務経験：(有)・無	各企業現場指導者より		
授業概要	<p>【企業実習】 航空業界企業に出向き、業務を実際の体験を通して理解する。精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。</p> <p>【ボランティア】 ボランティア活動を通じて、他者に尽くすことで得られる幸福感や喜びを実感し、心の豊かさを育む。 (感謝の気持ちの大切さ・共感と思いやりの醸成・自己肯定感の向上)</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践業務を学び、知識・技術の向上 ・他者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力とマナーの習得 ・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>〈企業実習〉 各企業の館内及び施設見学、航空業界全般並びに各企業ルールと共に接客時のマナーを学ぶ。</p> <p>【キャビンアテンダント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機内サービス/アナウンス ・接客マナー <p>【グラウンドスタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックイン業務 ・接客マナー <p>【グラウンドハンドリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーゴハンドリング業務 ・危険物取扱業務 			
	<p>〈ボランティア〉 学校に募集がかかったボランティア活動、若しくは千葉市のボランティアネットワークを活用し、自身が参加したいボランティア活動へ参加。</p> <p>【ボランティア内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 ・ビーチクリーン ・デイサービス ・文化活動 他 			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R：実習修了時間 120時間以上</p> <p>D：実習修了時間 120時間未満</p>			

エアポートコース

専門科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	Airline English I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Robert Endo-McCabe、須田 礼美				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	To develop students' English language skills for airline-related situations, and build confidence in communicating in English with native speakers.				
到達目標	Students will learn, memorize and practice relevant conversations for working in the airline industry.				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	Original text				
授業計画	1 Check-in conversation		1 Preflight instructions		
	2 Gathering and checking information		2 Inflight amenities		
	3 Checking baggage/numbers/ contents check		3 Inflight meal and drink service		
	4 Airport areas		4 Inflight shopping and currency		
	5 Seating/ boarding pass/ preflight instructions		5 Inflight problems (illness and emergency situations)		
	6 Oral test 1		6 Oral test 1		
	7 Security check conversation; Prohibited items		7 Recommending and explaining popular places		
	8 Security check conversation; Security checks		8 Explaining transportation		
	9 Duty free conversation; limits/ landing documents		9 Explaining location and making recommendations		
	10 Duty free conversation; Payment / inflight shop		10 Talking about places		
	11 Boarding gate English		11 Shopping and souvenirs		
	12 Announcements and instructions		12 Explaining Japanese etiquette		
	13 Oral test 2		13 Oral test 2		
成績評価 方法	Test (written and oral), attendance, in-class attitude and effort				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC 対策Ⅲ/Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートコース			授業形式	講義
実施期	2年生 <input type="checkbox"/> 前・ <input type="checkbox"/> 後	単位数	前期：2単位 後期：1単位	時間数	前期：52時間 後期：26時間
担当	講師名：日隈 敬子				
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：ノースウエスト航空機内通訳、日本航空 LAX グランドスタッフ			
授業概要	TOEIC は英語能力だけではなく、時間の使い方や技術が必要になってきます。 このクラスでは1年生で固めた文法やリスニング力を TOEIC のテストで上手くいかすために、時間を意識した実践的な練習を行います。英語の語彙力向上と共に、TOEIC のスコアアップを目指しましょう。				
到達目標	1年次の最高スコア+100点				
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称：				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリル「スコア650全パート標準編」新形式問題対応（桐原書店）				
授業計画	1 リスニング Part 1, 2 スクリプト音読		1 リーディング Part 5、文法		
	2 リスニング Part 2, 3 スクリプト音読		2 リーディング Part 5、文法		
	3 リスニング Part 3, 4 スクリプト音読		3 リーディング Part 7		
	4 リスニング Part 2 単語とフレーズ		4 リーディング Part 7		
	5 リスニング Part 3 リーディング Part 5		5 リスニング Part 4		
	6 リスニング Part 4 リーディング Part 7 シングルパッセージ		6 リスニング Part 2、スクリプト音読		
	7 リスニング Part 2 リーディング Part 7 ダブルパッセージ		7 リスニング Part 2、スクリプト音読		
	8 リスニング Part 3 リーディング Part 7 トリプルパッセージ		8 リスニング Part 4		
	9 TOEIC 模試&答え合わせ		9 TOEIC 模試&答え合わせ		
	10 文法の復習		10 2年の復習☆リスニング		
	11 文法の復習、単語、フレーズ		11 2年の復習☆文法		
	12 単語、フレーズの復習		12 2年の復習☆長文		
	13 前期の復習		13 2年の復習☆単語とフレーズ		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

2025 年度シラバス (授業計画)

科目名	韓国語 I・II			科目区分	選択科目
対象	エアライン科 ・ テーマパーク科 ・ 観光科			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 26 時間 後期 : 26 時間
担当	講師名 : 渡部 茂				
	実務経験 : 有・ (無)	実務経験内容 :			
授業概要	韓国語の会話のみならず、この言語を使用している民族の文化面的な背景も学ぶ。				
到達目標	一年間を通して日常の韓国語の場面話術や、各業界の専門的な業務会話の習得までを到達目標とする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称 : ハングル検定 ・ 韓国語能力検定				
教科書 教材	「日本語式から学ぶ韓国語概説」 渡部 茂 著				
	「例文をなぞって覚える場面別会話集」 渡部 茂 著				
授業計画	1.韓国語とはとハングル創製の時代背景まで	1.基本的な会話 (初対面の挨拶等)			
	2.文字と発音のルール (連音化・有声音化等)	2.日常会話 (ITHBで何を学んでいますか等)			
	3.音の変化 (流音化・鼻音化・口蓋音化等)	3.旅行・観光 (機内・列車内・バス内での案内等)			
	4.数詞 助数詞 漢数詞と固有数詞 (1と一)	4.飲食時の会話 (客と従業員の間の会話等)			
	5.指示代名詞と疑問詞	5.ホテル内での会話 (予約と応対等)			
	6.助詞 (一音節・二音節・三音節・四音節等)	6.交通と乗り物 (ITHBまで行って下さい等)			
	7.用言の活用 (です・ます)	7.テーマパーク (入場客のご案内や引率等)			
	8.文中の連体形と連用形	8.ショッピング会話 (日常や旅先の注文と応対等)			
	9.待遇表現(丁寧語・謙譲語・尊敬語等)	9.感情表現 (日韓形容詞の相違の比較対照)			
	10.依存名詞の役割 (こと・もの・はず・わけ等)	10.看病・介護・病気等の表現			
	11.日本語漢字音と韓国漢字音の対比	11.人生の一生の出来事表現			
	12.擬態語・擬声語 (オノマトペ) 接頭辞・接尾辞	12.スマホ・パソコン等の電子機器等の表現			
	13.朝鮮半島文化的背景 (親族の呼称・歴史年表)	13.芸能・音楽 (前売り券・ファンミーティング等)			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B : 評価試験 70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C : 評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D : 評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・テーマパーク科・観光科			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：張翼飛				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	前期は中国語の基本発音、文法及び中国文化を習得します、後期は基本会話の練習とエアライン、テーマパークおよび観光の現場に近い中国語を学び、即戦力となる人材を育成します。				
到達目標	基本的な中国語会話を身につけ、来日中国人のお客様に基本的な対応ができるようになる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	1 中国語の母音と子音の練習。	1 形容詞述語文を学習。			
	2 中国の地図、近代歴史と民族の紹介。	2 文の組み立て方の練習。			
	3 中国語四声の練習。	3 テーマパーク入場、案内で使用する会話。			
	4 中国年間行事の紹介。	4 エアラインカウンター手続きで使用する会話。			
	5 出会いと別れ、お礼とお詫びの言葉の練習。	5 観光地のバス移動で使用する会話。			
	6 中国人恋愛観と結婚観の紹介。	6 テーマパーク土産店で使用する会話。			
	7 中国語数字の言い方。	7 空港の保安検査と出国審査で使用する会話。			
	8 中国四大料理と食事マナーの紹介。	8 観光地案内で使用する会話。			
	9 動詞述語文を学習。	9 テーマパーク内レストラン利用時の会話。			
	10 中国人に送ってはいけないものの紹介。	10 エアライン搭乗案内で使用する会話。			
	11 名詞述語文を学習。	11 観光地食事マナー、ゴミ回収で使用する会話。			
	12 中国映画鑑賞。	12 テーマパーク内ホテルで使用する中国語会話。			
	13 前期期末試験問題対策。	13 後期期末試験問題対策。			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験90%以上、出席率80%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C：評価試験50%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験50%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	社会人準備講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：宮崎 愛子			
	実務経験：—	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。		
授業概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標に、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの間があることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書教材	なし（適宜プリントを配布）			
授業計画	1 学ぶこと・働くことの意義を考える。社会人の評価基準～信用と信頼を得て仕事を任せてもらえる人材に～			
	2 アンガーマネジメント①／怒り感情の正体とは／怒り感情のコントロール（自己理解）			
	3 アンガーマネジメント②／怒り感情との向き合い方・対処法（他者理解）／クレームの捉え方			
	4 アンガーマネジメント③／怒りの性質を知り自分の心を守る アンガーマネジメントまとめ			
	5 メンタルヘルスマネジメント①／そもそもストレスとは？ストレスの受け取り方、受け流し方			
	6 メンタルヘルスマネジメント②／悩みに振り回されないために、感情を整理する			
	7 メンタルヘルスマネジメント③／幸せホルモンとセルフコントロール			
	8 メンタルヘルスマネジメント④／自分だけのコーピングリストを作成しよう			
	9 アサーティブコミュニケーション①／アサーティブの基本～自己表現タイプと心理的ポジション			
	10 アサーティブコミュニケーション②／アサーティブに表現してみよう			
	11 新入社員の自己紹介①／自己紹介の目的・ルール・伝えるべきこと			
	12 新入社員の自己紹介②／相手の心に届く自己紹介を考えよう			
	13 テスト返却／新入社員の自己紹介～新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう～			
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目j
対象	エアライン科		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：藤田敦子			
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：手話講師・手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話やその他のコミュニケーション手段（指文字、読唇、筆談、表情、ジェスチャー、音声など）を体験し学ぶ。手話技能検定6級5級4級の単語を学ぶ。また、聴覚障がいのお客様に対して自信を持ってコミュニケーションがとれるように聴覚障がいの基礎知識（医学的、社会的、心理的、文化的な側面）を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障がい者の多様性と手話について理解をする 2. 聴覚障がい者を取り巻く環境および問題点について理解をする 3. 手話やそれ以外の様々なコミュニケーション方法があることを知り体験する。 4. 手話や多様なコミュニケーション方法を用いて簡単な会話ができるようになる。 			
検定資格	なし・必修・(任)意 名称：手話技能検定4級または5級			
教科書教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級（日本能率協会マネジメントセンター） 手話技能検定公式テキスト3・4級（日本能率協会マネジメントセンター）			
授業計画	1 手話とは①・指文字とは・聴覚障害者とは① 6級単語：あいさつ・自己紹介・反応・	1 聴覚障害者と法律① 4級単語：人間・食べ物・動物・指文字総合復習		
	2 手話とは②・手話の種類・聴覚障害者とは② 6級単語：天候・疑問・数字・時制・指文字①	2 聴覚障害者と法律② 4級単語：生活・スポーツ・趣味・指文字総合復習		
	3 手話とは③ 6級単語：人・家族・指文字②	3 ろう文化とは 4級単語：感情・乗り物・指文字総合復習		
	4 手話とは④・手話と聴覚障害の種類・人数 6級単語：色・方角・指文字③	4 デフリンピック① 4級単語：形容詞副詞①・指文字総合復習		
	5 接客手話とは 6級単語：感情・動作・指文字④	5 デフリンピック② 4級単語：形容詞副詞②・指文字総合復習		
	6 世界の手話 手話検定6級模試（指文字なし）	6 耳の構造と補聴器 4級単語：社会施設①・指文字総合復習		
	7 コミュニケーション方法① 5級単語：疑問と時間・自然・指文字⑤	7 聴力レベルと障害者手帳 4級単語：社会施設②・都道府県①・指文字総合復習		
	8 コミュニケーション方法② 5級単語：自然・家族・趣味・程度・指文字⑥	8 マークいろいろ① 4級単語：都道府県②・指文字総合復習		
	9 コミュニケーション方法③ 5級単語：基本動詞・指文字⑦	9 マークいろいろ② 4級単語：都道府県③		
	10 コミュニケーション方法④ 5級単語：形容詞・指文字⑧	10 聴覚障害者トピック 4級単語：動詞		
	11 コミュニケーション方法⑤ 5級単語：指文字⑨・6級指文字	11 ゲストを迎える準備・質問練習		
	12 手話検定5級模試と答え合わせ	12 ゲストティーチャーとの交流・手話を使ってみる		
	13 試験返却&振り返り	13 試験返却&振り返り		
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験65%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ニュース・ディスカッション		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース ス・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：須田礼美			
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：成田空港VIP専用ラウンジ勤務・外資系航空会社客室乗務員		
授業概要	時事問題に対する興味と関心を広げ、深く理解する。 ディスカッションを通して自分の意見を論理的に表現する。			
到達目標	社会人として必要な語彙力・理解力・表現力を身に着ける。 論理的思考やクリティカルシンキングの基礎力を身に着ける。 自分の意見を相手に伝わるように言語化できるようになる。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	適時プリント配布			
授業計画	1 オリエンテーション： シラバスの説明 ・ 授業の目的と進め方 ・ 成績評価の方法			
	2 ニュースの分析と理解（基本構造5W&H：要約）		ペアワーク（共有とフィードバック）	
	3 ディスカッションの種類とそれぞれの進め方（手順）		グループまたはペアワーク（自由討論）	
	4 「定義付け」の必要性		グループワーク（抽象的なテーマ：話題のニュースに関する選択型討論）	
	5 「ブレインストーミング」の注意点		グループワーク（話題のニュースに関する自由討論）	
	6 「心理的安全性の構築」について		グループワーク（話題のニュースに関する選択型討論）	
	7 「ディスカッション」と「ディベート」		グループワーク（話題のニュースに関する賛成反対型討論）	
	8 演習：自由討論（話題のニュースに関するテーマ）			
	9 演習：選択型討論（話題のニュースに関するテーマ）			
	10 実技テストに向けて：ディベート準備		グループワーク（根拠となる資料収集・戦略構想）	
	11 演習：ディベート（話題のニュースに関するテーマ）			
	12 ディベートの反省と講師からのフィードバック			
	13 まとめと感想			
成績評価 方法	評価試験・出席状況・授業（演習）貢献度・課題評価を総合的に評価して判断する。			
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 A B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 B C：評価試験70%以上、出席率60%以上、平常点 C D：評価試験70%未満、出席率60%未満、平常点 D			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	電話対応ベーシックⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：岸田輝美			
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：電話対応・社内マナー講師実務経験。現在は研修会社取締役		
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話対応」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、実践ですぐに役に立つ、社会人として最低限に必要なスキルを身に付けていく「電話総合ビジネスマナー」を学んでいきます。			
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話対応、信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得します。 訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指します。			
検定資格	なし・必修・(任意) 名称：電話対応技能検定4級			
教科書教材	ビジネスマナーテキストブック（ビューティフルマナー株式会社出版） 前向きな言葉の作り方実践ワークブック（一般社団法人日本ペップトーク普及協会）			
授業計画	1 前向きな言葉を意識する	1	【実践電話対応】	取次 台本作り
	2 状況を受け止め表現する	2	【実践電話対応】	取次 実技
	3 状況の捉え方を変え表現する	3	【実践電話対応】	道案内 台本作り
	4 可能なことを提案する	4	【実践電話対応】	道案内 実技
	5 自分自身を励ます	5	【実践電話対応】	問い合わせに対応 台本作り
	6 自分の一言目を変える	6	【実践電話対応】	問い合わせに対応 実技
	7 日本語の特徴（話す・聞く）	7	【実践電話対応】	感謝をイメージする 台本作り
	8 敬語の基本を学ぶ	8	【実践電話対応】	感謝をイメージする 台本作り
	9 敬語の基本を学ぶ	9	【実践電話対応】	感謝をイメージする 台本作り
	10 相手の心理状態をプラスにする言葉	10	【実践電話対応】	感謝をイメージする 実技
	11 電話対応の基本	11	【実践電話対応】	感謝をイメージする 実技
	12 電話対応の基本（かける）	12	【実践電話対応】	感謝をイメージする 実技
	13 電話対応の基本（受ける）	13	会社の顔を自覚する対応とは	
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	空港旅客サービス実務Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：松本 多英美				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：航空関連企業での実務経験あり			
授業概要	1年次に学習した内容をベースにし、さらに実践的な空港業務の内容を学習します。特別なお客様の対応やイレギュラー時の対応など、通常時以外の対応についても学びます。				
到達目標	空港における様々な業務の知識をさらに広げ、目の前のお客様にどう対応するのか、具体的に実際の現場を想定し、自ら考え行動に移せる力を身に付けます。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	講師作成資料				
授業計画	1 オリエンテーション（授業計画周知）				
	2 出入国時に必要な書類について①				
	3 出入国時に必要な書類について②				
	4 特別機内食の種類				
	5 振り返り 小テスト				
	6 システムダウン時のマニュアル対応について① チェックインカウンター				
	7 システムダウン時のマニュアル対応について② 搭乗ゲート				
	8 振り返り 小テスト				
	9 身体が不自由なお客様への理解				
	10 身体が不自由なお客様への対応方法① 車椅子・肢体不自由				
	11 身体が不自由なお客様への対応方法② 視覚聴覚障がい・お年寄り				
	12 これからのグランドスタッフ像				
	13 空港の役割とその進化				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	危険物取扱講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：逢坂 理恵			
	実務経験：有・無	実務経験内容：航空貨物取扱企業にて輸出・輸入業務ならびに教育担当の実務経験あり。Diploma 基礎、危険物教育インストラクターの資格あり。		
授業概要	航空機に搭載する手荷物や航空貨物には危険物があり、様々な規則が定められています。危険物は取り扱いを間違えると大事故に繋がってしまうため、航空業界で働くために身に付けておくべき知識の一つです。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物の分類や危険性、ラベル、マーキングを理解する。 ・旅客手荷物に含まれる危険物、航空機への搭載規則を理解する。 ・航空安全に対する意識を醸成する。 			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	1. 身の周りの危険物、教育の目的、規則体系とその他の輸送形態			
	2. IATA 規則第1-2章 危険物輸送の流れと規則の責任範囲、認可と適用免除			
	3. IATA 第2章 隠れた危険物、微量・少量、IATA 第3章 分類(第1分類～3分類)			
	4. IATA 第3章 分類(第4分類～9分類)			
	5. IATA 第4章 危険物リストの見方			
	6. IATA 第5-6章 包装基準、容器の種類と輸送形状、国連規格容器			
	7. IATA 第7章 ラベル・マーキング			
	8. IATA 第8章 書類の作成（危険物申告書、AWB）			
	9. IATA 第9章 ハンドリング(受託・保管・搭載)			
	10. IATA 第9章 旅客手荷物、機長への通知			
	11. まとめ、応用問題			
	12. 試験対策問題			
	13. 試験返却、フィードバック			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 59%以下、平常点 不可			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	エアカーゴ実務Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：栞原 和希				
	実務経験：有・無	実務経験内容：物流関連企業にて実務経験あり			
授業概要	1年次は主にカーゴハンドリング(貨物取扱・空港内の現場作業)及び税関、航空貨物に係る基礎知識を学習しましたが、2年次は、国際航空貨物を取り扱う中心的な存在である「国際航空貨物代理店（フォワーダー）」における必要不可欠な業務知識を学びます。				
到達目標	「航空貨物代理店（フォワーダー）」に関する知識を習得し、航空会社やその他関連企業・省庁とどのように連携しているのか深く理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	講師作成資料				
授業計画	1 オリエンテーション 国際航空貨物代理店（フォワーダー）について				
	2 輸出航空貨物の基本的な流れ（貨物引き取りから通関・混載仕立て、航空会社引き渡しまで）				
	3 輸入航空貨物の基本的な流れ（貨物到着から混載仕立て・通関、配送まで）				
	4 国際航空貨物代理店（フォワーダー）の情報技術（IT・システム）				
	5 損害賠償について① 運送約款				
	6 損害賠償について② 各種クレーム（事例紹介）				
	7 振り返り 小テスト				
	8 倉庫における荷扱い。各種ISO・JIS規格（品質・情報他）				
	9 NACCS（通関情報処理システム）、その他システム、使用機器				
	10 日本の貿易管理制度（各種法令・制度・規制）				
	11 輸出入申告業務 基礎：統計品目番号/申告書作成				
	12 物流DXと今後の課題				
	13 輸出入業務の今後の展望と将来性について				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ワールドディステーションズⅢ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：石松			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり。		
授業概要	世界の渡航先について、①空港所在地 ②空港周辺の観光資源を中心に、地勢・言語・宗教・文化風習などについて、幅広く基礎を学ぶ。 授業期間中に、評価の対象となる課題の提出がある。			
到達目標	主要な空港所在地を地図上で把握することができる。 渡航の目的について、理解と考察ができる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	旅に出たくなる地図 世界（帝国書院） 世界白地図（JTB 総合研究所） ※ともに1年次に購入済 プリント適宜配付			
授業計画	1 中東（トルコ、UAE）			
	2 ヨーロッパ（英国、フランス）			
	3 ヨーロッパ（スペイン、ポルトガル）			
	4 ヨーロッパ（ドイツ、スイス、オーストリア）			
	5 ヨーロッパ（イタリア、その他）			
	6 ヨーロッパ（北欧諸国、ロシア）			
	7 北米（カナダ、アメリカ合衆国）			
	8 北米（アメリカ合衆国）、中南米の代表的な渡航先			
	9 オセアニア（ハワイ）			
	10 オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド）			
	11 アフリカ（エジプト、モロッコ）			
	12 アフリカ（その他の情報） / 期末試験前のまとめ			
	13 定期試験返却と解説 / 宗教画			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、および出席率 80%以上、および平常点 優 B：評価試験 60%以上、または出席率 70%以上、または平常点 良 C：評価試験 40%以上、または出席率 60%以上、または平常点 可 D：評価試験 40%未満、または出席率 60%未満、または平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅢ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科2年 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：北原 大輔			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：スポーツインストラクターとして実務経験あり。		
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力とリスベクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	なし、必要によりプリント用意			
授業計画	1 自己紹介、授業説明			
	2 体力測定			
	3 体力測定 2			
	4 コーディネーショントレーニング			
	5 バランストレーニング			
	6 心拍数、運動強度講習			
	7 ウォーキング			
	8 ランニング			
	9 筋トレ（上半身）			
	10 筋トレ（下半身）			
	11 ボクササイズ			
	12 球技			
	13 測定テスト			
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価 基準	A：授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B：授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C：授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D：授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	卒業制作Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：52時間 後期：52時間
担当	講師名：株式会社 ANA 総合研究所			
	実務経験：○・無	実務経験内容：客室乗務員としての実務経験あり		
授業概要	【ケーススタディー】 前期：過去の事例（成功事例、事故ミス/ヒヤリハット）について講義 後期：実際の事例を基に、実技演習にて実際の対応方法を学ぶ			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントと危機管理の違い、CSRを理解する ・過去の事例に伴った対策を知り、新たな対応策を考える力を身に付ける 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材				
授業計画	1	オリエンテーション（受講に際しての心構え）	1	オリエンテーション（授業の目的・目標）
	2	リスクマネジメントと危機管理について	2	グループ分け（具体事例を選択）
	3	企業統治（コーポレートガバナンス）について	3	具体事例1 ヒヤリハット対策考案①
	4	航空業界における安全管理体制①	4	具体事例1 ヒヤリハット対策考案②
	5	航空業界における安全管理体制②	5	具体事例1 ヒヤリハット対策考案③
	6	前半の振り返り	6	具体事例1 ヒヤリハット対策考案④
	7	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 空港	7	対策案を基に実際に動く（実技形式）
	8	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 空港	8	具体事例2 ヒヤリハット対策考案①
	9	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 空港	9	具体事例2 ヒヤリハット対策考案②
	10	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 空港	10	具体事例2 ヒヤリハット対策考案③
	11	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 機内	11	CSコンテスト（発表）
	12	事故ミス/ヒヤリハット 具体事例 機内	12	CSコンテスト（発表）
	13	まとめと後期に向けて	13	まとめ
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験60%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験60%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	航空機研究			科目区分	専門科目
対象	エアライン科			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：逢坂 理恵				
	実務経験：有・無	実務経験内容：航空貨物取扱企業にて輸出・輸入業務ならびに教育担当の実務経験あり。Diploma 基礎、危険物教育インストラクターの資格あり。			
授業概要	航空業界で働くための基礎となる知識、特に航空機とその周囲で働くスタッフについて学びます。また航空機の事故事例から“空の安全”について考え、将来の職場でも安全に対し意識をもって仕事ができるように、安全の重要性を学びます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機や空港関連の基礎知識、航空会社業務への理解を深める ・航空業界の責任について学ぶ 				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	講師作成教材				
授業計画	1. 航空機の歴史と種類、機体の構造				
	2. 航空機の原理とエンジン				
	3. 機体の構造とカテゴリー、装備				
	4. 航空機のバランス、燃料				
	5. 航空機を囲む搭降載機、ULD				
	6. 航空機の整備				
	7. 航空機を囲む様々な業務（航空会社）				
	8. 航空機を囲む様々な業務（空港）				
	9. 航空権益と IATA Area、時差・飛行時間計算				
	10. 航空機事故から学ぶ				
	11. まとめ、応用問題				
	12. 試験対策問題				
	13. 試験返却、フィードバック				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 59%以下、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	企業実習/ボランティア		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	後期：4単位	時間数
担当	講師名：企業担当者/ボランティア団体 担当者			
	実務経験：(有)・無	各企業現場指導者より		
授業概要	<p>【企業実習】 航空業界企業に出向き、業務を実際の体験を通して理解する。精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。</p> <p>【ボランティア】 ボランティア活動を通じて、他者に尽くすことで得られる幸福感や喜びを実感し、心の豊かさを育む。 (感謝の気持ちの大切さ・共感と思いやりの醸成・自己肯定感の向上)</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践業務を学び、知識・技術の向上 ・他者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力とマナーの習得 ・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>〈企業実習〉 各企業の館内及び施設見学、航空業界全般並びに各企業ルールと共に接客時のマナーを学ぶ。</p> <p>【キャビンアテンダント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機内サービス/アナウンス ・接客マナー <p>【グランドスタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックイン業務 ・接客マナー <p>【グランドハンドリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーゴハンドリング業務 ・危険物取扱業務 			
	<p>〈ボランティア〉 学校に募集がかかったボランティア活動、若しくは千葉市のボランティアネットワークを活用し、自身が参加したいボランティア活動へ参加。</p> <p>【ボランティア内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 ・ビーチクリーン ・デイサービス ・文化活動 他 			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R：実習修了時間 120時間以上</p> <p>D：実習修了時間 120時間未満</p>			